

～次代につなぐ～

令和の時代にふさわしい展開を！



新緑の眩しい季節を迎えました。

山口七夕会は、平成11年(1999年)に設立されてから20周年を迎え、平成から令和へ、新しい時代がスタートしました。

山口七夕会の「設立趣旨書」の冒頭には、本会の目的は、山口市を愛し山口市の発展を願う者が、相互の交流を図りながら理解を深めるとともに、ふるさとやまぐちの社会、経済及び文化の発展に寄与すること、としています。

私たちは、諸先輩方の築かれた交流と親睦の10年の土台の上に、新たに策定した「山口七夕会 2020 ビジョン」により、ふるさと山口への貢献と女性・若い世代の参画など交流の拡大をめざして活動して参りました。

今、時を経ても変わらぬ目的の実現のため、令和の時代にふさわしい Beautiful Harmony「美しい調和」をめざし、ふるさと山口市のますますの発展のために、東京と山口を軸に活動を展開して参ります。

会員のみなさまのご理解と一層のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年(2019年)6月

山口七夕会
会長

八木 健二

目次

- 八木会長挨拶/目次/重要なお知らせ.....1
- ＜活動報告/ダイジェスト＝2月～5月＞.....2～3
- 「20周年記念ロゴマーク」デザイン募集！「＝法人会員(年会費1万円)を募集しています！＝」.....3
- 「大人の社会科見学「防衛省」2【報告】」.....4
- 1400年の歴史が詰まった興隆寺妙見社が現在倒壊の危機にあります！【会員投稿】.....5
- 新会員紹介(前回以降入会)、「会報・山口七夕会(第6号)」原稿募集！.....6

＝七夕会通信の他に、次のものも同封して送らせていただきました。ご確認ください。＝

○市報「やまぐち」(4月1日号、5月1日号、6月1日号)

○令和元年度会費納入のお願いと会費納入状況のお知らせ＜事務局＞

○別紙⇒8月3日(土)「令和元年度山口七夕会会員総会について」(ご案内)

※別紙○「山口七夕会会員総会出欠連絡票」

⇒8月17日(土)「令和元年度ふるさと山口本部「夏の講演・交流会」(ご案内) ※裏面「出欠連絡票」

○ふるさと納税のお知らせ

○法人会員からのお知らせ(株)技工団、(福)青藍会

○情報誌「彩都山口」

○氷上山諸事業寄附金用郵便払込取扱票(赤い用紙)

【重要なお知らせ】

◎転居されるご予約のある方は…転居予定日、転居先を任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。
(会報等の資料が届かなくなってしまう！)

◎退会を希望される方は…退会されるのは残念ですが、任意の様式でかまいませんので、下記までご連絡ください。
(会員録の整理などの事務処理に必要となります)

〒753-8650 山口市亀山町2番1号

山口七夕会事務局(山口市企画経営課内)

TEL 083-934-2746/FAX 083-934-2642

<活動報告/ダイジェスト=2月～5月>

【東京圏ネットワーク本部】

	日 時	内 容
大人の社会科見学	平成31年2月15日（金）	大人の社会科見学「防衛省2」を開催。【参加者：10名】 ※P4に○「大人の社会科見学「防衛省」2【報告】掲載。
散策同好会 お花見ウォーク	平成31年3月30日（土）	散策同好会・お花見ウォークを開催。【参加者：13名】   平成31年3月30日 
ゴルフ同好会	令和元年5月4日（土）  【優勝/久重会員】	山口七夕会創立20周年記念大会 第2回ゴルフコンペ（八木重二郎杯）を開催。【参加者：10名】  

【ふるさと山口本部】

	日 時	内 容
「第5回音楽祭 輪 -rin-」	令和元年5月26日（日）	ポルシェセンター山口にて開催。【参加者：95名】 

【東京圏ネットワーク本部】

	日 時	内 容
第30回交流会	平成31年3月2日(土)	別邸福の花浜松町店にて開催(39名参加)
		○講演会(卓話)
		◆卓話①:「ふるさとの風〜! 山口の誇り〜」 ◇講師: ちひろ氏 (シンガーソングライター・ラジオパーソナリティ)
		◆卓話②:「巨大ロボット最前線」 ◇講師: 吉崎 航氏 (アスラテック株式会社取締役 チーフロボットクリエイター)
		◆卓話③:「風邪は万病のもと、マイコプラズマは風邪症状の原因 微生物(長引く咳の1番目の原因、急性気管支炎の1番 の原因、肺炎の3番目の原因)」 ◇講師: 松田和洋氏 (エムバイオテック株式会社代表取締役)
		 

= 「20周年記念ロゴマーク」デザインを募集! =

山口七夕会は、今年2月6日で設立総会から20周年を迎えました。これを記念して、「20周年記念ロゴマーク」のデザインを募集します。参考にサンプルを山根会員に作成いただきました。

- 募集締め切り: 令和元年7月7日(日)
- 様式: データでも紙ベースでも構いません。
具体的にはお問い合わせください。
- デザイン決定後は、記念バッジや記念品の制作を検討しています。会員や関係者の方でご協力いただける方も同時募集!



担当: 幹事長 山縣 正彦
〒190-0161
あきる野市入野 415-19
yamagata1954@utopia.ocn.ne.jp

= 法人会員 (年会費1万円) を募集しています! =

～山口七夕会では、財政基盤の確立と組織の拡大のため、法人会員を募集しています!～

山口七夕会では、事業年度内に3回、会員みなさまに「山口七夕会通信」や市報「やまぐち」などの情報をお届けしています。現在、会員数は392名ですが、法人会員みなさまは、事業年度内に1度、チラシやパンフレットなどを同封してダイレクトメールとしてご活用いただくことができます。(単純に計算しますと、切手82円×392名=32,144円のコストが年会費1万円の法人会費に含まれることになります。)

次の会員への「山口七夕会通信」などの発送を9月～10月に予定していますので、既に法人会員に登録されている方は継続をお願いします。また、新規に法人会員を募集しますので、会員みなさまの関係者やご懇意の法人様の紹介をよろしくお願いいたします。お問い合わせ、申し込みは、以下の事務局をお願いします。

山口七夕会 幹事長 山縣 正彦
◇山口市七夕会事務局(山口市企画経営課内)担当: 小田口
TEL: 083-934-2746

P 大人の社会科見学「防衛省」 2

幹事 本多圭子(会員 NO.655)

立春を過ぎたのに雪が舞った平成 31 年2月15日(金)、2回目の「防衛省」の見学会がおこなわれました。

去年は午後のコースであったが、今回は午前のコースに会員 10 名が参加しました。その中には、防衛省に勤務する会員の宮木さんもおられ、最初から最後まで一緒に同行していただきました。

先ず、正門から足を踏み入れ、何十段も上がる階段とその後ろにそびえる庁舎、敷地面積25ヘクタールという広さに驚き、約 1 万人の方々が勤務されていると聞き、改めて「防衛省」の大きさに驚いた次第です。

儀仗広場のそばを通り、市谷記念館に案内され、かつて行われた極東軍事裁判の様子等をビデオで拝見し、その当時を知ることができました。また、2 階の「旧便殿の間」(前陸自幹部学校長室)の見学と故・三島由紀夫氏が占拠した際の柱の刀傷を見て、あの事件当日、学生であった私の記憶が蘇ってきました。

寒い中、屋外のヘリの展示も見、2時間少々の見学後、厚生棟で最後にメモリアルゾーンで殉職者の御霊に一礼し、見学会を終りました。

その後、宮木さんにも参加していただき、参加者全員で近くの「福の花 市ヶ谷外堀店」で昼食をとり、三々五々解散しました。

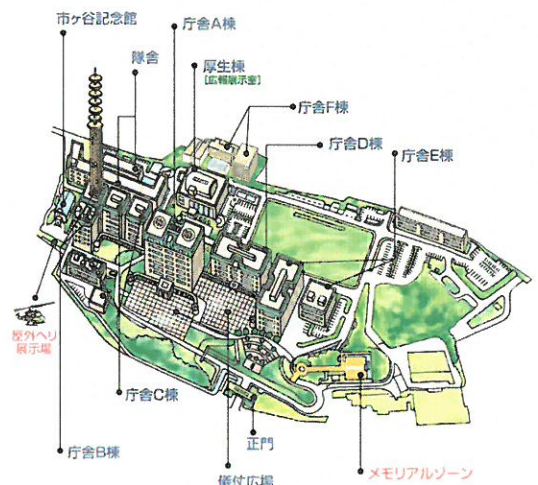
日本の防衛を担っていただいている「防衛省」を見学でき、改めて感謝し、これからも平和が続くことを祈った次第です。



【市谷記念館】



【屋外ヘリ展示場】



1400 年の歴史が詰まった興隆寺妙見社が現在倒壊の危機にあります！

入江幸江(会員 NO.420)



大内、^{ひかみ さと}「氷上の里」に生まれた私は、^{りんしょうたいし}北斗七星の化身・琳 聖 太子を祀る興隆寺があり、北極星を神格化した北辰を祀る北辰妙見社が存在するこの地が、その昔、人々は神の地(上宮)への立入りを禁止され、歴代の当主の子、^{き どうまる おぐな}亀童丸という童男しか登拝を許されなかった、と聞いて育ちました。大内氏全盛時代には大いに栄え、氷上山はすべてが境内だったといひます。

私は、この史実を「興隆寺古伽藍図」や「大内村史」から知ることとなりました。「大内村史」の中には大内義弘と^{につえ もりはる もちよ のりひろ まさひろ}二月会、盛見、持世、教弘、政弘、

^{よしおき}義興それぞれの時代の二月会が盛大に催されていたことが記されており、山口驚流狂言師・米本太郎さんが興隆寺妙見社で開催されていた「二月会」をキーワードに再興文化事業として、市原住職の賛同を得て、この 10 年間「二月会の再興・山寺コンサート」を続けてこられました。

氷上山興隆寺・北辰妙見社の修復及び顕彰事業は平成 28 年までの第 1 期～3 期に、事業総額 1,820 万円のご協力をいただきました。この度、第 4 期事業の寄付をクラウドファンディングでのお願いとすることとなりましたのも、米本太郎さんのお声掛けによるものです。

北辰妙見社がこの地になぜ？という話は、「古代地上絵北斗図の謎」(池畑孝次郎著)に書かれていますので、またの機会に。



1400年もの歴史が詰まった興隆寺
妙見社が現在倒壊の危機にあります！

ブリキが腐食した屋根



屋根裏側の腐食と雨漏り



明治維新以降、興隆寺は多くの建物が失われ、
残っているのは釈迦堂、妙見社、梵鐘のみ

その妙見社を地域の方々となんとか守り抜きたい

この度、「興隆寺妙見社修復プロジェクト」と題し、興隆寺釈迦堂の屋根の修復のためにクラウドファンディングを実施し、大変多くの皆様のご支援をいただき、目標の 500 万円を達成することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。この夏以降に修復を行い、11 月末を目標に完成を目指しています。

集まった支援を基に行いますが、実際の施工には約 700 万円がかかります。クラウドファンディングは締め切りでしたが、引き続き皆様からのご支援をお願いできればと思っています。

また、釈迦堂が完成すれば、次に妙見社の修復もごさいます。お願いばかりになり恐縮ではありますが、引き続きのご支援をいただければ幸いです。なにとぞよろしくお願いいたします。釈迦堂修復費 700 万円、妙見社修復費 1,100 万円、現在約 600 万円集まっています。

興隆寺妙見社修復プロジェクト 市原修俊・米本太郎

【振込先】氷上山復興事業及び顕彰委員会

郵便払込取扱票(赤い用紙): 01330-5-21561

※通信欄に「氷上山諸事業寄付金として」、また、領収書が必要な方は「領収書・要」とご記入ください。

＜新会員＞（敬称略）
※前回以降の入会者

受付No.	氏 名	受付No.	氏 名
735	松岡 宏明	746	大浜 三平
736	前田 敏弘	747	渡辺 綾子
737	藪 敏行	748	南 知子
738	高石 清美	749	平本 浩一
739	久賀 公夫	750	山田 豊佳
740	蔵藤 誠司	751	西村 朋美
741	林 卓志	752	奥田 和彦
742	金森 廣	753	田中 美旋律
743	富田 剛史	754	井出 由紀子
744	内藤 剛志	755	久保 孝
745	俵田 祐児		

＜法人会員一覧表＞

No.	法人名	代表者名
1	村重酒造株式会社	村重 雅崇
2	山口日産自動車株式会社	末富 健作
3	旭水産有限会社	八木 政治
4	株式会社 常盤旅館	宮川 和也
5	株式会社 地域情報新聞	垣内 太
6	株式会社 技工団	作間 悦次
7	企業組合アグリアートジャパン	山見 智盟
8	金光酒造株式会社	金光 明雄
9	有限会社劇団角笛	白石 武士
10	（一社）平成の萩往還・ 中山間地振興をめざす会	中野 勉
11	山城屋酒造株式会社	宮崎 展一
12	マルシフードサービス株式会社	村光 伸介
13	社会福祉法人 青藍会	阿武 義人
14	株式会社セブンシステム	細坂 孝彦
15	株式会社光華	三原 美津子
16	株式会社ベルミューズ	長尾 修志
17	（一社）日本自動車連盟 山口支部（JAF 山口支部）	河野 信彦

※会員数：392 人、法人会員 17 社（会費納入済）
（令和元年 6 月 28 日現在）

ORANGE SOUL RENOFA YAMAGUCHI !
＝レノファ山口 2019 シーズンのご案内＝

2 月 24 日に始まった 2019 年のレノファ山口の新たなシーズン。みらスタでは数千人のサポーターが、関東では今年も山口ゆかりの店、四谷のふくの鳥さんに集結した熱いサポーターが、ねつい声援を送りました。結果は昨年までの J1 チーム・柏レイソルに惜敗。それからというもの、なかなか調子の上がらないレノファですが、こういときこそホームはもちろん、アウェイのスタジアムをオレンジ色に染めてレノファを鼓舞しましょう。

今後のレノファの関東遠征スケジュールは次の通りです。今年も東京のファンクラブ中心に、特別企画が用意される予定です。

令和→REIWA→RENOFA。今年は、RENOFA の年になる！

http://www.renofa.com/game_schedule2019/

【レノファ山口関東地区での対戦スケジュール】

★7 月 27 日（土）19 時キックオフ 大宮戦（NACK5）

★7 月 31 日（水）19 時 30 分キックオフ 横浜FC戦

（ニッパツ）

★8 月 10 日（土）19 時キックオフ 柏戦 （三協 F 柏）

★8 月 17 日（土）18 時キックオフ 甲府戦 （中銀スタ）

★9 月 8 日（日）19 時キックオフ 東京 V 戦（味フィ西）

★11 月 10 日（土）未定 町田戦（町田）

＜会報第 6 号 / 原稿募集！＞

（1）「編集委員会」（編集委員長：武内副会長）では、以下のテーマで原稿を募集します。

①「私と山口七夕会」（「20 周年に寄せて」特集）
～会発足から今までの出来事やエピソードをお寄せ下さい。

②「私と山口」
～山口にゆかりのある思い出から最近の出来事までお寄せ下さい。

③「私の今」
～会員の方の今を語る原稿をお寄せ下さい。

④「自由テーマ」
～山口七夕会の活動に関連するものを掲載させていただきます。

（2）字数

多くの方々の原稿を掲載するため、1, 200 字程度でお願いします。

（3）原稿締め切り：令和元年 7 月 31 日必着

（4）送り先：メール：yamagata1954@utopia.ocn.ne.jp
（電子データ：Word、テキストなどをお願いします。）

（5）発刊：令和元年 9 月（予定）